

稲川支援学校進路だより



ステップ

令和6年度 第3号

令和6年7月1日

秋田県立稲川支援学校

進路指導部 発行

6月5日から18日にかけて、高等部で前期実習が行われました。事業所や校内での実習をとおして、高等部卒業後の生活に必要な態度やマナーの大切さを実感することができました。事後学習では、自分の目標の達成度を振り返ることで、成果と課題を明確にしました。特に課題については卒業後の生活につながるように、今後、意識して生活することが大切であることを確認しました。

校内実習

校内に模擬事業所を設定して実施しました。毎日行う朝礼では、体調管理や清潔面に気を付けることの大切さ、挨拶や報告の仕方、作業スピード、休憩時間の過ごし方などについて学びました。

ダイコク化成稲川工場
(ポリパックの結束) (作業報告の場面)



稲川ファーム
(ポット洗い) (小豆の苗植え)



現場実習

進路希望に合わせて一般事業所や障害福祉サービス事業所で、実習を行いました。一般事業所での実習では、製造、サービス業など、様々な業種の事業所に協力をしていただきました。また、福祉サービス事業所での実習では、職員や利用者の皆さんと関わりながら、様々な作業を体験させていただきました。得意なこと、苦手なことについて理解が深まり、進路について、より具体的に考えるよい機会となりました。

(写真は一部です。)



羽後のうさん



あきたアグリネット



グリエ十文字



マックスバリュ



ひだまり農園



寛文五年堂



秋田基準寝具



ポリッシュ

裏面もごらんください。